

MIRAIへ続く全国防草ブロック工業会 2016年「愛知環境賞」を受賞する。

資源循環や環境負荷の低減を目的とした、先駆的で効果的な技術・事業・活動・教育の事例を、企業、団体及びグループから募集し、優れた事例に対する表彰を行うとともに、広く紹介することによって、新しい生産スタイルや生活スタイルを文化として社会に根付かせ、資源循環型の形成を促進させることを目的としております。



技術テーマ：世界初の防草機能を持つ道路二次製品



2016愛知環境賞
銅賞受賞

全国防草ブロック工業会（所在地：愛知県豊田市、矢野コンクリート工業（株）内）が全国展開する道路二次製品、防草ブロックと防草グレーチング（名称：エレファンドレン）は、第12回「2016愛知環境賞」【主催：愛知県、共催：環境パートナーシップ(EPOC)、中日新聞社】を受賞しました。受賞式典は平成28年02月18日、ローズコートホテル(名古屋市中区)で開催され、会長・矢野明正氏(右)が登壇し、EPOC会長・安井香一（東邦ガス(株)代表取締役社長）より銅賞を授与されました。

愛知環境賞は、2005年愛知万博の開催に合わせ省資源や省エネルギー、リサイクルなどに関する優れた技術や活動を表彰し、全国に向けて愛知の環境技術・活動のレベルの高さを発信しており、愛知県が創設したものです。愛知県内の企業・団体等の技術、事業が対象とはいえ、国内工業出荷日本一を誇り、モノづくり技術が集積する産業県として、環境施策への取り組む企業も多く、愛知環境賞は多くの企業目標とされている。今回金賞に輝いたのは、トヨタ自動車(株)の水素CAR、燃料電池自動車の「MIRAI」が受賞し、銀賞はトヨタ車体(株)の生物多様性保全と環境学習機能を備えた「刈谷ふれ愛パーク」の地域ESD活動のモデル化。続いて全国防草ブロック工業会（防草ブロックと防草エレファンドレン製品）が銅賞を受賞しました。また、年々各業種、産業における省資源・エネルギー・3R・資源循環・環境負荷低減に関する効果的な技術や事業、また活動と教育等、各分野様々な環境施策への取り組みも増えており、大手企業の実績が多いのも本賞の特徴である。



(左)EPOC安井会長、(中)矢野会長、(右)大村愛知県知事



主催者挨拶：大村愛知県知事

全国防草ブロック工業会会長・矢野明正氏は、毎年、受賞企業には日本を支えてきた大企業の先端技術・製品の受賞が多く、道路土木業界である私達の防草技術製品の受賞は、大変嬉しく名誉な事と喜びを隠せません。私たち製造メーカーにとっても、次世代へ繋がる環境製品として、各製造会社の環境意識も受賞を機に益々高まることでしょう。現在、北海道から沖縄まで多くの国道や地方自治体での採用も着実に増え続けてはありますが、国内道路総延長の一部に過ぎません。私たちのするべき環境施策を決して欠かす事なく、次世代へ繋がる道路インフラ整備と豊かな社会づくりの一員として努める所存でございます。そして、愛知環境賞受賞に際し審査・採択して頂きました諸先生はじめ関係者の皆様に、御礼を申し上げます。と述べている。

【受賞のポイント】従来防草技術製品による防草工事、草刈り作業などCO₂排出量を100%削減でき防草の為に資材・機械や農薬類を一切使用する必要がなく、防草や除草の為に環境負荷をゼロにできることから、環境負荷の低減に大きく貢献するものと高く評価された。

- ①初期工事における防草対策時の環境負荷低減を実現
(従来防草製品(シール、テープ、目地材)製造、運搬・防草施工)
 - ②維持メンテナンス(除草、農薬)、再施工時の環境負荷低減。
(防草製品製造、運搬、草刈り作業・防草施工・廃棄物の運搬・処理等)
 - ③従来製品と違い製品の劣化が無く、防草効果が継続する。
 - ④道路維持者にとっても経済効果を期待でき、道路利用者も安心できる。
- 全国防草ブロック工業会の防草技術製品は、大きな環境負荷低減効果を実現し、今後の社会の役割を持った製品として、改めて位置付けされる事となった。

